

2023

11

November
No. 369

広報

みしま



「笑顔いっぱいの三島保育所運動会！」

9月30日、三島保育所で抜けるような青空のもと運動会が行われ、子どもたちは、かけっこやつなひき、ダンス等に元気いっぱいに取り組みました。応援に訪れた保護者の皆さんからは温かい声援が送られ、笑顔いっぱいの運動会となりました。(裏表紙に記事)

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「次のステージに向けて」

台湾交流推進事業

9月20日から24日にかけて、町長はじめ工芸関係者など7名が台湾を訪問しました。台湾への訪問はコロナの影響により4年ぶりとなりましたが、関係が途切れることのないようコロナ禍の中でもWEBによるオンラインでの交流を展開してきました。今回の訪台では、今後の更なる交流のための取り組みを進めていくために、関係各所を訪問しました。

平成30年に締結した台湾国立工芸研究発展センターとの友好交流・相互協力に関する覚書により、多くの町関係者が台湾を訪問し、台湾からも工芸関係の方々から三島町にお越し頂きました。引き続き相互の交流を展開するために、友好交流・相互協力に関する覚書に町長及びセンター長（主任）陳殿禮氏が署名し、今後5年間の連携、協力を確認しました。

また、記念イベントが同センターで行われ、奥会津編み細工や桐工芸品などの展示販売と山ブドウ細工の実演、山ブドウ、ヒロロのストラップ製作体験と共に、町の工芸品と台湾の工芸品のコラボ企画としてファッションショーが開催されました。



覚書に署名した矢澤町長と陳センター長



ヒロロの縄ない体験



台湾の柿渋、藍染衣装とのコラボ



山ブドウ細工の実演



イベントにお集まりいただいた関係者の皆様



テレサの日本の父舟木稔さんと矢澤町長
(テレサ・テンの墓前にて)

ふるさと運動をきっかけに来町したアジアの歌姫テレサ・テンによる交流を平成30年から進めており、台湾の基金会へ、これまでの活動報告と今後の展開を説明し、町が進める歌碑の建立について合意をいただきました。



左より王副校長、矢澤町長

令和元年度に町生活工芸運動友の会と国立雲林科技大学とが友好交流協定を締結し、工芸による交流を進めてきました。今回、行政の取り組みや学生の受け入れなど新たな取り組みを進めべく、町と大学による協定を締結しました。11月15日から一週間、学生を中心に8名の研修生を受け入れます。

第19回会津の編み組工芸品展

赤城弘美さんに会津地方振興局長賞

第19回会津の編み組工芸品展は10月14日・15日、交流センター山びこで開催されました。会津地方の58人から寄せられた314点を審査し、「帽子」(山ブドウ)を出展した赤城弘美さん(北塩原村)が最高賞の福島県会津地方振興局長賞を受賞しました。

開場と同時に、人気の山ブドウバックやマタタビ細工などを求める多くの来場者でにぎわいました。また、会場には実演コーナーと生活工芸アカデミー生のコーナーも設けられ、皆様熱心に見入っていました。

同日、生活工芸館で「ものづくり再光展」も同時開催され、東北各地の職人の方々の品々が展示販売されました。



会津地方振興局長賞

赤城弘美さんの作品「帽子」



多くの来場者でにぎわった会場



会津地方振興局長賞を受賞した赤城弘美さん

第19回会津の編み組工芸品展受賞者

賞	作品名	材質	作者名	市町村名
福島県会津地方振興局長賞	帽子	山ブドウ	赤城弘美	北塩原村
会津若松市長賞	買い物かご	マタタビ	藤原勝栄	会津若松市
北塩原村長賞	山ブドウ手さげ	山ブドウ	鈴木タケ子	北塩原村
磐梯町長賞	こだしあみバッグ	アケビ	菅家千代子	会津若松市
会津坂下町長賞	ヒロロバッグ	ヒロロ他	齋藤タケ子	会津坂下町
湯川村長賞	猫ハウス	ワラ	須田新也	会津若松市
柳津町長賞	手さげバッグ	ヒロロ他	阿部節子	柳津町
会津美里町長賞	てさげバッグ	ヒロロ他	佐々木あや子	会津美里町
三島町長賞	山ぶどう手さげバッグ	山ブドウ	羽賀孝子	三島町
金山町長賞	ざる	マタタビ	栗田伝三郎	金山町
昭和村長賞	クルミレディース(大)	クルミ他	五十嵐富一	三島町
南会津町長賞	大ザル	根曲竹	武藤叡太郎	喜多方市
只見町長賞	四ツ目箆	マタタビ	角田恵治	金山町
三島町議会議長賞	下駄	山ブドウ	森智代	猪苗代町
福島民報社賞	ショルダーバッグ(大)	山ブドウ	羽賀清志	会津坂下町
福島民友新聞社賞	マタタビ手提げ鞆	マタタビ他	宇内敬	会津坂下町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	果物用ザル	マタタビ	岩瀬清隆	柳津町
	ウリハダカエデザル	ウリハダカエデ	久保田昭一	三島町
	秋のかご	ヒロロ他	諏訪道子	会津若松市

町内施設の建設状況についてお知らせします

ガソリンスタンド 建設工事等進行状況

現在建設中のガソリンスタンドの工事等の進行状況をお知らせいたします。

令和5年8月2日に開催された臨時議会にて、ガソリンスタンドの名称が「三島町サービステーション」、指定管理者が「桐の里産業株式会社」に決定されました。

建設工事は令和6年1月31日を工期とし、現在は地下タンク設置を終え、事務所棟及びキャノピー（屋根）設置工事を進めており、今後は計量機等の給油設備や洗車機の設置、構内コンクリート舗装などの外構工事に取り組みます。オープンは来年4月を予定していますが、なるべく早く町民の皆様にご利用いただけるよう前倒しして準備を進めます。

なお、現在のガソリンスタンド（三島給油所）は、令和6年度中に解体・撤去する計画です。



完成イメージ



地下タンク設置の様子



事務所棟・キャノピー設置の様子

食鳥処理施設 新築工事進行状況

町の特産品である会津地鶏を加工している現在の食鳥処理施設は、平成17年より稼働を開始し、施設の老朽化や処理能力の上限に近い状態でした。

そこで、町ではこれまでの施設よりも規模を拡大し、鶏肉の加工ができる設備を加えた新たな食鳥処理施設を三島中学校西側（宮下字上ノ原地内）に整備をしています。完成は令和6年2月末で、現在は外装部分がほぼ完了し、建物の内装や電気設備、外構工事に着手しています。

本施設の完成により、会津地鶏の処理・流通量の増加や既存商品の他に新たな加工品等の販売ができるようになり、更なる消費拡大が期待されます。



工事状況（施設外観）



工事状況（施設内部）

固定資産評価審査委員に 片山一雄さんを選任

町議会9月定例会において、片山一雄さん（桧原）が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。任期は、令和5年10月1日から3年間です。固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に対する納税者からの不服を審査決定するために設置された第三者委員会です。（現在、片山さんの他に佐久間宗一さん（宮下）と飯塚国英さん（大石田）が委員を務めています。）

なお、5期15年にわたり同委員を務めていただいた目黒忠昭さん（滝谷）は任期満了により退任されました。長い間ありがとうございました。



▲左より矢澤町長、片山一雄さん

教育委員に半澤美由紀さんを再任

教育委員に半澤美由紀さん（名入）が議会の同意を得て再任され、このたび矢澤町長より任命書が交付されました。任期は、令和5年10月1日から4年間です。

教育委員会は、教育長と4人の委員によって構成され、月に1回の定例会のほか、必要な場合は臨時会を開催しています。学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づき教育長が具体的に事務を執行します。

特に教育分野では、家庭・学校・地域が、つながり合い・支えとなって、未来を担う子供たちの育成を目指しており、半澤委員さんには、いつも貴重なご意見をいただいております。



▲左より矢澤町長、半澤美由紀さん、山口教育長

佐久間建設工業株式会社

日本赤十字社本社感謝状の表彰伝達

佐久間建設工業株式会社は日本赤十字社へ多額の寄付金により赤十字事業の進展に大きく貢献してきたことから、この度、感謝状が贈呈され、9月27日に日赤三島町分区長矢澤町長より「日本赤十字社本社感謝状」が伝達されました。



▲左より矢澤日赤三島町分区長、佐久間源一郎会長

ご寄附ありがとうございます

▶左から矢澤町長、明治安田生命月田誉坂下営業所長、鈴木礼さん



手渡しました。

訪れ、矢澤町長に目録を
と鈴木礼さんが町長室を
10日13日に月田誉所長
が贈呈されました。

所から町へ多額の寄附金
明治安田生命坂下営業

明治安田生命から
町へ寄附金

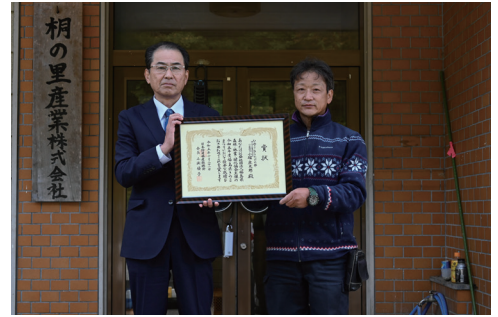
桐の里産業株式会社の「ひらたけ」

日本特用林産振興会長賞を受賞

10月21日に開催された、令和5年度福島県「きのこまつり」(公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会主催)において、桐の里産業(株)の「ひらたけ」が日本特用林産振興会長賞を受賞しました。

桐の里産業(株)の「ひらたけ」は、元々三島町で栽培されていたもので、海老名弘さん(桧原)の指導を受け栽培しています。

福島県では放射性物質の影響により野生のきのこの販売が制限されているため、季節を感じられる桐の里産業株式会社の「ひらたけ」は人気が高くなっています。



▲左より小堀代表取締役と山口泰市郎さん



▲桐の里産業(株)のひらたけ

三島町と日本生命保険相互会社との

包括連携協定 締結式

10月24日、三島町と日本生命保険相互会社郡山支社との包括連携協定締結式が、町民センターで行われました。

締結にあたり矢澤町長からは「三島町は他とは違う視点で地域づくりをしていかなければならない。その基本となるのが三島町の各18集落が元気になることであるため、新たな視点からご指導をいただきたい。」また、高岡支社長からは「地域の課題に応じた提案を行い、企画を通して安心して住める町づくりに協力していきたい」と挨拶されました。今後、さらによりよい地域づくり事業に連携して取り組んでいきます。



▲左より高岡俊之支社長、矢澤町長

と挨拶されました。今後、さらにより

三島町 空き家・空き地バンク 最新情報

三島町空き家・空き地バンクに新規物件が登録されました。詳しくは、QRコードからご確認ください。空き家の利活用や売買、賃貸借をお考えの方は、以下のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。



【宮下】賃貸・売買 (No.38)

- ・木造2階建て(畑、倉庫付き)
- ・床面積 137.07㎡
- ・改修箇所が少なく、すぐにでも入居可能なコンパクトな物件
- ・水道管(1箇所)、網戸の張替などの改修が必要



【宮下】売買 (No.39)

- ・木造2階建て(倉庫付き)
- ・床面積 154.93㎡
- ・中心地のメイン道路に沿って位置し、除雪作業が比較的少なくすむ物件
- ・屋根、壁、窓サッシなどの改修が必要



かや

茅刈り人足 (10月1日)

ボランティアこぶしの会研修旅行 (10月15日)

佐久間 絹江さん (滝原)

10月1日に、お墓わきの茅場で茅刈り人足が行われました。小雨の降るなか、地区住人9名がカマや草刈り機を用いて作業しました。刈り取った茅は、近くの木に立てかけ、乾燥させた後、地区消防団員が秋の検閲式後に、年明けの“サイの神”会場まで運びます。毎年のことながら、稲わらが確保できない滝原地区の大事な人足となっています。夏の暑さにも負けず、たくましく育った茅は、来春の“サイの神”で天高く燃えあがることでしょう。

また、10月15日にボランティアこぶしの会の研修旅行が実施されました。コロナ禍で外出が控えられていたここ数年でしたが、今年は規制が解かれ、待望の研修旅行となりました。あいにくの雨となりましたが、会員13名が参加し、山形県のダリア園と上杉神社などを巡り、バス旅を楽しんできました。



「元気に楽しいひとときを」西方健康のつどい (10月14日)

本名 与四郎さん (西方)

コロナ禍のため中止となっていた西方健康を守る会が、4年ぶりにふるさとセンターで開催され、今回は、健康を守る運動会から規模を縮小した「健康のつどい」という形で実施されました。西方住民の約30名以上の老若男女が一同に会し、健康を守る会の渡部吉一会長の開会宣言を皮切りに、ゲームが始まりました。誰もが気軽に楽しめるボッチャやわなげ、マジックやダーツ、ビンゴゲームなどのニュースポーツを取り入れながら、健康増進を図ることを目的に和気あいあいと楽しく挑戦していました。参加者の皆さんは、パラリンピックの種目の一つとして紹介されたニュースポーツであるボッチャに関心を持たれ、1対1の攻防の中、特に楽しく挑戦していました。和やかな雰囲気の中、趣向を凝らしたゲームが繰り広げられ、盛会裏に終了しました。



「親子でも 負けたくない ゲームする」
「あとひとつ 数字がでない ビンゴゲーム」

「田んぼの学校」みんなで脱穀作業 (10月16日)

小島 純さん (宮下)

秋晴れの中、宮下ふれあい公園「びおたん」で、宮下地区との交流事業である三島小「田んぼの学校」の脱穀作業が行われました。最後の工程である脱穀作業には、三島小3～6年生22名の児童と宮下地区のびおたん倶楽部会員、地区委員、町づくり応援隊の皆さんが参加されました。栗城隆彦さんから脱穀に使う「千歯こき」や「足踏み脱穀機」の使い方の説明を受け、悪戦苦闘しながらも楽しく作業に汗を流しました。収穫されたお米は総量58kg、米袋4つ分になりました。精米された米は、1kgずつ袋詰めされ全校児童に配られるとのこと。子どもたちは、「こういう脱穀機は初めて知ったけど、教えてもらいながら楽しく作業ができました」「去年よりはうまくできた」「小学校最後の脱穀作業だったけど、みんなで楽しく作業できて良い思い出になりました」との感想が聞かれました。



町職員の給与と定員管理の状況をお知らせします

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との均衡などを考慮し、条例で定められています。令和5年4月1日現在の地方公務員給与実態調査および地方公共団体定員管理調査を基に、町職員の給与と定員管理の状況を公表します。

●総務課 財政係 ☎(48) 5511

◆部門別職員数の状況（令和5年4月1日現在）

部 門	職 員 数	前年度からの増減	
一般行政部門	議 会	1	±0
	総 務	16	-1
	税 務	2	±0
	民 生	6	-1
	衛 生	3	-1
	農 林 水 産	3	±0
	商 工	3	+1
	土 木	3	±0
小 計	37	-2	
特別行政部門	教 育	5	±0
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	1	±0
	国 保	1	±0
	そ の 他	1	±0
	小 計	3	±0
合 計	45	-2	

③職員数は一般職に属する人数であり、町長、副町長、教育長、会計年度任用職員は除いています。

◆人件費の状況（令和4年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（令和5年4月1日現在）1,389人

歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
27億220万円	1億430万円	4億3,654万円	16.2%

③人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含まれます。

◆職員給与費の状況（令和4年度普通会計決算）

職員数 (A)	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	1人当たりの給与費 (B/A)
43	1億5,263万円	3,027万円	5,977万円	2億4,267万円	564万円

③職員数は令和4年4月1日現在。職員手当には退職手当を含まない。

◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	40.2歳	30万1,931円	32万9,649円

③令和5年4月1日現在の給与=給料+諸手当

◆令和5年4月1日現在の初任給

学 歴	大 学 卒	短 大 卒	高 校 卒
初任給	18万9,500円	17万400円	15万7,900円

◆令和5年4月1日現在の特別職の報酬等

区 分	役 職	月 額	期末手当（令和4年度支給割合）		
			6月期	12月期	計
給 料	町 長	69万4,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	副町長	55万9,000円			
	教育長	52万7,000円			
報 酬	議 長	22万5,000円			
	副議長	18万4,000円			
	議 員	16万6,000円			

◆職員手当の状況

（令和4年度支給割合）

	6月期	12月期	計
期末手当	1.175月分	1.225月分	2.4月分
勤勉手当	0.950月分	1月分	1.95月分

（令和4年度決算）

その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
1人当たりの平均支給年額	25万2,200円	26万6,900円	13万1,000円	36万9,600円	6万3,100円

（令和5年4月1日現在）

退職手当	勤続年数	自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	19.6695月分	24.5868月分
	勤続25年	28.0395月分	33.2707月分
	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
	最高限度額	47.709月分	47.709月分

地域おこし協力隊

活動誌

最近の活動諸々について

山本 敬晴

秋も段々と深まり、三島町に来て3回目の冬を迎えようとしている今日この頃、今年の年末年始は北九州に帰省するか三島町で過ごすか考えているところ

です。
さて、ここ数か月間はイベント対応が多く、9月は美坂高原で催された「スターウォッチングツアー」、10月は「沼田街道トレッキングルート整備」や「銀山街道美女峠の道普請」等、豊かな自然環境を観光資源として活用していく取り組みに少しでも力添えできればと思い協力させていただきました。

もちろん、本務である地域循環の活動を怠っていたわけではありません。10月は『三島町地域循環共生圏推進協議会』の「令和5年度第1回」を開催し、当誌でも昨年掲載した温泉施

設（つるの湯、ひだまり）の給湯用灯油ボイラー老朽更新に伴う木質バイオマス設備（薪ボイラー等）導入における検討について引き続き協議しました。具体的結果や今後の方向性などについては、もう少し内容を整理した後、当誌『地域循環コラム』等にて改めて報告していきたいと考えていますが、当該ボイラーの更新には早急な対応が求められる中で、ボイラーの運用や燃料製造の体制など木質バイオマスに関わる様々な課題を直ちに解決し、設備を導入していくには現時点ではなかなか難しい状況です。

しかしながら、三島町には、森林資源に限らず、河川や温泉などその他のすばらしい地域資源も数多く存在します。任期は残り半年と短い期間ではありますが、これまで検討を続けてきた木質バイオマス以外にもこれらの地域資源を活用した再エネ設備の可能性を踏まえて、引き続き検討を続けていきたいと思

- 第10回ものづくり再光 -

～12件の作り手さんに出店いただきました～

10月14・15日(土)・(日)、交流センター山びこを会場として、第19回会津の編み組工芸品展が開催され、会津から集まった数多くの編み組作品をご覧いただきました。

一方、生活工芸館では、同日開催の「ものづくり再光」を実施したところです。もともと町内の編み組品以外の工人さんの作品発表や販売の機会としてスタートしたこのイベントも第10回を迎え、現在は町外からも出店をしていただくようになりました。木工、染織、陶芸、漆器、ガラス、張り子、照明など全12件の出店があり、普段の工芸館では見られない魅力的な工芸品が並びました。

それぞれのお店では、販売のほかに実演や体験を実施しているところもあり、会場内にはつくってむずかしい顔、できてうれしい姿があちらこちらに見られました。



染織



トンボ玉



漆器



二階会場の様子

☎三島町生活工芸館 ☎(48) 5502

工芸館だより 30
ものづくりの伝承



ポリファーマシー

vol.85

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎48-5565



あなたの薬、いくつ飲んでいますか？

病気の種類が増えたり、受診する医療機関が複数になると、一度に飲む薬の数も増えてしまいます。すると、薬が効きすぎたり逆に効かなかったり、副作用が出やすくなることもあり注意が必要です。飲んでいる薬が6種類以上になると、副作用を起こす人が増えるというデータもあります。

「ポリファーマシー」って聞いたことありますか？

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。薬が追加されたり、変わったりした後は特に注意しましょう。



食欲低下
ふらつき
便秘
尿が出にくい
物忘れ
気分が沈む
眠気など

「なにか変だな」「いつもと違う」と感じたら？

気になる症状があっても、勝手に薬をやめたり減らしたりするのはよくありません。薬によっては、急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。必ず、医師や薬剤師に相談しましょう。

薬以外で飲んでいる健康食品やサプリメントがある場合は、その情報も伝えましょう。

お薬手帳を持ちましょう！

自分の処方されている薬がわかるように、お薬手帳は1冊にまとめておきましょう。



図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

●利用時間

①～⑤ 午前9時～午後9時
⑥⑦⑧ 午前9時～午後5時

●お休み

年末年始

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

ぼくは川のように話す

ジョーダン・スコット 著

苦手な音をどもってしまうぼくは、クラスの朝の発表でもまったくしゃべることができなかった。

放課後にむかえにきたお父さんは、そんなぼくを静かな川べりにつれて行って、ある忘れられない言葉をかけてくれた。



●図書の紹介



生きる

谷川俊太郎 著



うつの人が見ている世界

工藤ぶち 著



失敗図鑑

大野正人 著

町史編さん室だより

第94回

現三島町域における

明治大正期の青年組織

三島町域においては古文書等が見つからず明らかになっていませんが、全国的には江戸の頃より「若者組」や「若連中」などという名称で、村の様々な物事を教わったり、村で様々な活動をしたりする青年組織があったといえます。

三島町域の各地区では、少なくとも明治期前半に「若連中」という名称で組織されていたものが（大石田では「若者組」であったと昭和四十年代の聞き書きの記録にあります）、明治期後半から「青年会」に、大正期には「青年団」と名を改め、昭和期後半まで、さまざまな活動を行っていたことが確認できます。

三島町には大正二年（一九一三）に各青年会がどのような組織なのか西川村外二ヶ村組合（後の宮下村）が照会をかけた際の回答文書が遺されています。その回答をまとめたものが以下の表となります。その連合として明治四十五年（一九二二）には「西川村外二ヶ村連合青年会」が誕生したことがわかります。各地区で青年会が行う活動について、例えば宮下青年会では、新聞雑誌書籍の購読と観覧所の設置、冬期間に青年夜学部の開設、杉や桐の増殖、蚕種・種苗などの共同購入、休業日における撃剣練

習、道標の建設、掲示場の新設、社寺境内の掃除、毎月の貯金、善行者の表彰など多岐にわたります。

青年会は大正五年（一九一六）に「大沼郡西川村原谷村三谷村組合青年団」と改称、そのまま昭和を迎えます。また大正の初め頃の文書として、「大沼郡中西部青年会連合幹部会」の規約が遺されており、現金山町や現昭和村に存在した青年会とも共同事業を行うなど、連携体制が構築されていたことがうかがえます。

このような「若連中」「若者組」からはじまる青年組織は男性の組織ですが、大正九年（一九二〇）には義務教育終了時より二十五歳以下の女性を構成員とする「西川村外二ヶ村組合処女会」が組織されています。規約が遺されており、学徳修養を目的とする修養・生業・裁縫・手芸・作法・料理・育児・看護・家事に関する講習会（講和会）の開催、婦人に適当適切な地方改良・公共事業・慈善救済事業の援助や、体力養成を目的とする体操・庭球・雑刀の練習や運動会・遠足旅行の実施などが、その事業内容として挙げられています。

（町史編さん室）

大正2年4月 各地区の青年会の概要（西川村外二ヶ村組合への報告資料より一部を抜粋）

会名	新設年月日	会員数	大正2年度予算額	資金（積立金）
宮下青年会	明治34年2月15日	27	30円50銭	（積立基本金）70円50銭
桑原青年会	明治16年2月15日	16	（収入予算）15円80銭 （支出予算）9円85銭	（積立金）53円50銭 （経常費）3円71銭3厘
大登青年会	明治16年2月12日 若連中 明治35年2月 青年会	22	（経常予算）収入14円 支出14円 （事業費予算）収入54円 支出35円	（基本金）142円47銭2厘 （夜学土台金）24円29銭8厘 （桑園利益金）19円
川井青年会	明治33年	25	29円85銭	103円36銭
松原青年会	明治23年2月	21	15円50銭	86円
滝谷青年会	明治13年旧正月16日 若連中 明治43年旧正月16日 青年会	21	（収入の部）30円7銭 （支出の部）約18円	（資金）35円80銭 （草鞋積立金）大正元年6円30銭 大正2年3円15銭
大谷青年会	明治38年9月	35	7円45銭	48円50銭
浅岐青年会	記載なし	17	92円50銭	118円
間方青年会	明治43年8月	15	20円	50円
西川村外二ヶ村連合青年会	明治45年4月21日（西川・原谷・三谷各村の青年会の連合）	180	10円	記載なし

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

地域循環コラム 第17回

～ 第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア (REIF) について～

10月12日と13日の二日間、『第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIF)』が郡山市「ビッグパレットふくしま」にて開催されました。三島町の再エネ担当である筆者も県内の再エネ産業の動向を押さえるために見学してきましたので、今回は当イベントについてまとめたいと思います。

1 「ふくしま再生可能エネルギー産業フェア (REIF)」とは

福島県内における再エネ・水素・脱炭素関連ビジネスの活性化に向けて商談・交流、県内の取組とその成果を国内外へ発信することを目的として、2012年の震災以降、毎年秋に開催されている再エネ・新エネ関連における大型イベントです。

今年は、191企業・団体（国の関係省庁、福島県や県内自治体、大学、再エネ関連の民間事業者など）が出展されており、本紙でもお馴染みの「国立環境研究所」様をはじめ町の事業に関係する事業者様も出展されていました。



写真『展示会の様子』（国立環境研究所様出展ブース）

2 豊富なセミナープログラム

当イベントでは、展示会場の他に大ホール等にて再エネ・新エネ産業におけるセミナーも実施されており、筆者もオープニングセミナーなど二日間にわたりセミナーへ参加してきました。

三島町における再エネと言えば、生活工芸館に設置している薪ボイラー等の「木質バイオマス」や町内施設の数か所に設置されている「太陽光発電」を思い浮かべるかと思いますが、福島県内では、その他にも「風力発電」をはじめ様々な再エネや「水素」などの新エネルギーの取り組みを進めています。

今年のセミナーでは、浜通りの方の風力発電や水素エネルギーに関する取り組みとその成果を多く取り挙げられていました。今回、私が参加したセミナーにも残念ながら木質バイオマスなどのこれまで町で検討してきた再エネに関係しそうな取り組みの話はありませんでした。それでも福島県内を中心に国内外の再エネ・新エネの動向を知り、様々な再エネ産業の状況を把握できたことは有意義であったと思います。

3 REIFに参加しての筆者の感想

再エネ担当として一度は参加したいと思っていたイベントで、これまで個人的な関心が低く、自ら学ぶ機会が少なかった水素産業、風力発電などの動向を改めて知ることができました。そのため、最後に福島県も注力している水素について少し余談も含めて話をしたいと思います。

現在、太陽光発電のコスト低減が進み、世界で3番目の発電量を誇るまで普及しています。資源エネルギー庁によると、2020年時点では1kWhあたりの発電コストが12.9円（事業用）で、石炭火力の12.5円、原子力の11.5円と比べても遜色ない発電コストになってきています。2030年の試算では8.2～11.8円とコスト低減がさらに進み、最も安価に発電できる電源として更なる普及が予想されます。

ただ、こうした太陽光の普及によって昼間の電力が余ってしまうことも懸念されています。そこで、それらの余剰電力で、水の電気分解による水素製造を行い、エネルギー源として貯蔵する仕組み（グリーン水素）が有効だと考えられ、各国で再エネとともに水素の普及にも取り組んでいます。福島県は、その先進地として水素産業が進み、県内（浪江町）には世界最大級のグリーン水素製造装置を有する「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」があります。製造コストを中心にまだまだ課題も多く、普及には時間を要しますが、県内の主力産業としてこれからの成長が期待できますし、将来的に三島町で灯油ボイラーの代わりに水素を使う日も！？なんて可能性もゼロではありません。いずれにしてもさまざまな視点で再エネ・新エネの動向を引き続き追う必要があります。

【 地域おこし協力隊 やまもとたかはる 山本敬晴 】



東北工業大学にインタビュー！（後編）

三島町のみなさま、こんにちは。今回は三島町にて国立環境研究所と共同研究を行っている、東北工業大学ライフデザイン学部の大場研究室の取り組みについて、インタビューした様子の後半をご紹介します。後半では、これまで3回に渡って三島町浅岐地区で行ってきた現地調査の様子について、4年生の山田修吾さんと佐藤大樹さんのお二人の学生さんにお話を伺いました。

※以下敬称略

■お二人は現在どのような研究をしていますか？

山田：私は「森林再生と管理方法の検討」をテーマに研究を行っています。この研究は、林業従事者の減少や放棄林の増加といった課題に対して、スマート林業を導入する方法について検討するものです。

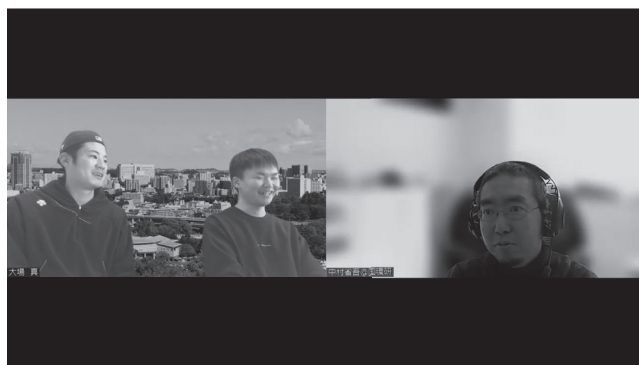
佐藤：私は三島町の森林と東北工業大学の長町キャンパスにある森林とで光の環境や土壌にどのような違いがあるかを調べています。間伐をしているかしていないか、樹木の種類の違い、などからそれぞれの環境の違いを明確化にして、利用方法を探っています。

■三島町での現地調査とはどのようなものでしょうか？

山田：今年は7月と10月に浅岐地区で森林調査をしました。具体的には、特定の樹木に焦点を当て、光環境と土壌成分を調査しました。調査範囲は、その樹木を中心にして東西にかけて10mの範囲で、1m刻みで光環境と土壌成分の推移を調査しました。このデータは、スマート林業の実施に際して、樹木の成長を最適化し、持続可能な森林管理を行うための基礎資料になります。例えば、光環境データは、植物の光合成率や成長に影響を与える要因を求められますので、更に多くのデータを集めることで樹木にとって最適な光環境を維持する指標づくりに役立つと思います。

佐藤：同じ調査地点で太陽の位置もほぼ同じ時刻に調査したのですが、7月と10月では光の強さの数値がかなり違いました。間伐の状況も違って、7月は足元にほとんど下草が生えていませんでしたが、

10月ではたくさん下草が生えていました。また同様の調査をした宮城県の長町キャンパスの森林と比べてみると、長町の方はまったく間伐がされておらず鬱蒼としていて、下草が生えていない状態でした。間伐の有無で地面への影響がだいぶ違うことがわかりました。



※オンラインで中村主任研究員（右画面）のインタビューに応じる山田さん（左画面の右）と佐藤さん（左画面の左）

■何度か現地調査で町を訪れているとのことですが改めて三島町にどんな印象をもっていますか？

山田：この地域の豊かな森林、のどかな田園風景、そして温泉に感動しました。仙台と比べるととても空気が澄んでいるような気がして、自然の中での穏やかな時間を過ごすことができました。また温泉は調査後のリラクセスに絶好の場所で、特に窓から見下ろす川景色は最高でした。

佐藤：我々のような宮城県の学生と三島町の方々とが関わるのが少ないと思います。来年も我々の後輩たちが引き続き三島町に調査に赴くことがあると思いますので、町民の方々と良い関係を築くことができたらうれしいです。

東北工業大学のみなさんありがとうございました。山田さんや佐藤さんが卒業した後も、三島町での森林の調査は続いていくとのことですので、町中で学生さんを見かけた際にはぜひ声をかけてみてくださいね。

◎国立環境研究所福島地域協働研究拠点

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

宮下病院からのお知らせ

リハビリ室からのお知らせ

宮下病院 薬剤師 渡部 智浩

薬は、温度・湿度・光の影響を受けやすいものです。以下の点に注意しましょう。

- ①温度 薬は基本的に常温(15～25℃)で保管しましょう。暖房器具の近くは避けてください。温度変化が激しい場所(窓際や玄関など)も避けましょう。
- ②湿度 薬は乾燥した場所で保管し、湿気が多い場所(浴室や台所など)は避けてください。カビや変色などの原因になります。
- ③光 直射日光を避けて保管しましょう。光は薬の成分を分解したり、変色させたりする可能性があります。

以上のことを守って、薬を安全に保管しましょう。

☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

消防署からのお知らせ

令和5年 秋季全国火災予防運動

11月9日～11月15日

火を消して 不安を消して つなぐ未来
住宅防火 いのちを守る 10のポイント
- 4つの習慣・6つの対策 -

< 4つの習慣 >

- 1 寝たばこは絶対しない
- 2 ストープの周りに物を置かない
- 3 火元(ガスこんろ等)から離れない
- 4 コンセントのほこりを掃除する

< 6つの対策 >

- 1 安全装置が付いたストーブやこんろを使用
- 2 住宅用火災警報器を定期的に点検
- 3 寝具、衣類及びカーテンは防炎品を使用
- 4 消火器を設置し、使い方を確認
- 5 避難経路と避難方法の確保
- 6 防災訓練や戸別訪問による地域ぐるみの防火対策

≪災害情報等案内サービスの電話番号が変更となります!≫

【変更前】0242-25-1133 → 【変更後】0242-93-6119

※変更時期は令和5年12月中旬を予定しております。

正確な切り替え日時については時期が近づきましたら出張所への電話問い合わせ、または会津若松消防本部ホームページをご確認ください。



☎会津坂下消防署三島出張所 ☎(52) 3032

会津坂下警察署からのお知らせ

狩猟期間中の事故・事件防止

福島県では、11月15日～翌年2月15日まで(イノシシ及びシカに限り11月15日～翌年3月15日まで)の間を狩猟期間として定めており、鳥獣保護管理法で禁止されている区域を除いた地域で、狩猟免許を取得している方に限り狩猟鳥獣の捕獲等を行うことができます。

猟銃を使用しての狩猟は、一歩間違えると重大事故に繋がることから、銃刀法に定められたルールを守って取り扱しましょう。

☆主な違法行為☆

- 公道上で、猟銃に実包(弾)を装填したまま携帯する行為
- 公道に在る獲物を撃ったり、公道を越えて獲物を撃つ行為
- 駐車中の車両内に猟銃を放置し、その場を離れる行為
- 猟銃を運搬・携帯する際に、ケースへの収納や覆いをおお^{おお}被せ^{かぶ}ず持ち歩く行為

電話会社を名乗る国際電話・・・それは、詐欺なのかもしれません

最近、会津坂下警察署管内では、「電話会社を名乗る電話がかかってきた。話してみると未払い金があると言われたが身に覚えがない。」との相談が相次いでいます。その中でも多いのが「+1」や「+44」、「+81」から始まる電話番号からの着信です。

この「+」から始まる電話番号は国際電話で、海外から詐欺を目的に電話をかけてきている可能性があります。

これらの電話番号から電話会社を名乗る電話がかかってきた場合には詐欺を疑い、お金の振り込みや電子マネーの購入を行わないようにしましょう。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

無料調停相談会のお知らせ

【日時】 令和5年11月22日(※)9:30～18:00

【場所】 会津若松市文化センター

(会津若松市城東町14-52) ☎0242 (26) 6661

- 【内容】 ① 民事に関する調停申込(金銭貸借・土地、建物の明け渡し、相隣関係・損害賠償等)
② 家事に関する調停申込(離婚・子の監護養育・離縁・扶養・相続問題等)

【主催】 会津若松調停協会

【費用】 無料

【申込方法】 当日会場で受付(予約不要)

☎福島地方裁判所会津若松支部庶務課

☎0242 (52) 5725

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島
通信で健康教室を放送中です。
11月のテーマは「血圧のおはなし」です。ぜひご覧ください。



問 福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(9月分)

ふるさと納税

原 香 織 様 (いわき市)
村 雲 雅 志 様 (北海道)
薄 裕 幸 様 (埼玉県)
永 山 悦 子 様 (千葉県)
橋 本 惣 寿 様 (東京都)
鎌 田 一 宏 様 (会津坂下町)
吉 田 竜 三 様 (兵庫県)
塩 谷 久 美 様 (会津若松市)
庄 子 裕 之 様 (宮城県)
宇 内 敬 様 (会津坂下町)
長谷川 こずえ 様 (会津美里町)
寄附件数 66 件 計 1,048,000 円

11月分納税のご案内

【納期限 11月30日(木)】

- ▼ 国民健康保険税 (第4期)
 - ▼ 介護保険料 (普通徴収) (第4期)
 - ▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第4期)
- 忘れずに納付してください。

問 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

五十嵐 セツノ 様 (97才・名入)

町の人口と世帯 (10月1日現在)

人口	1,380	増減数	-2	出生	1
男	698		-3	死亡	5
女	682		1	転入	3
世帯	689		1	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

川井友愛サロン

11月13日(月)
午前10時から
川井集会所

ひまわりサロン

11月13日(月)
午前10時から
町民センター

大登サロン

11月13日(月)
正午から
大登生活改善センター

サロンなごみ

11月15日(水)
午前10時から
西方ふるさとセンター

高清水・小山 いきいきサロン

11月17日(金)
午前10時から
高清水集会所

間方いきいきクラブ

11月20日(月)
午前10時から
間方集会所

滝谷和楽塾

11月21日(火)
午前10時から
滝谷集会所

西方ほがらかサロン

11月25日(土)
午前10時から
森の校舎カタクリ

サロンないり

11月27日(月)
午前10時から
名入集会所

浅岐あったかサロン

12月1日(金)
午前10時から
浅岐集会所



町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

五十嵐 吉 信 様 (名 入)

問 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

只見線 列車運休および 代行バス輸送のお知らせ

JR 只見線の設備補修工事に伴い、「会津坂下駅～只見駅」間で以下の期間運休となるため、代行バス輸送を実施します。

<運休日> 12月4日(月)から12月8日(金)の5日間

<運休区間> 会津坂下駅～只見駅間 終日全列車運休

※ 会津若松駅(17:00発)小出行の列車は、会津若松駅～只見駅間運休となります。

問 JR 東日本お問い合わせセンター ☎ 050-2016-1600

「白熱の大接戦！」三島保育所運動会

9月30日、季節外れの暑さの中、三島町保育所の運動会が開催され、子どもたちの元気な声が会場に響き渡りました。

応援に訪れた保護者の皆さんも、子どもたちの一生懸命頑張る姿に涙する姿も見られました。

毎年恒例のリレーは、白熱の大接戦で、両チームに大きな拍手が送られました。



町長日記

「持続可能な世界の構築は」

我々は歴史の蓄積や経過の中から何を学んできたのだろうか、疑問と不安を同時に感じています。世界の子どもの未来を構築する歴史の方向性を真剣に考えないと非常に不安定な世界になり、争いは益々拡大の方向に向かうのではないかと危惧されます。

子育て支援や福祉の充実そして教育の充実の政策も含め働き方改革等が、テレビ等で毎日流される映像を見ると同時に、世界の多くの子供たち

や多くの大人の流血が見られ政界の状況を考えるとき、私たちはどこを目指せばいいのか。

しかし、先進国の人々は、平和を享受し何事もないかのように生きながらえながら平凡な日常を送っているのが現実であります。

この世界の二極化の拡大が、紛争地域とそうでない地域の間で進んでおり、また富める

国の内部においても二極化の傾向になり、この現実を修復していくのが非常に大変な状況になっていると感じています。

極端な視点ですが、日本は少子化が日に日に進行し、世界は人口が拡大していく現象を含めて、地球の未来はどうあるべきかを考え、資源や食料そして、環境問題の対策をしなければ人類に未来はないと考えます。

これらの課題や問題解決のためには、被害者や国土の荒廃と資源の枯渇の現実を、自国が受けているという想像性を働かせながら紛争のない共存できる世界を構築することこそ、政治家の役割であり、人類の知恵です。つまり法の支配を堅持しながら、次の世紀を創造することこそ、子ども達にプレゼントする唯一の施策であります。

三島町長 矢澤 源成

No.94